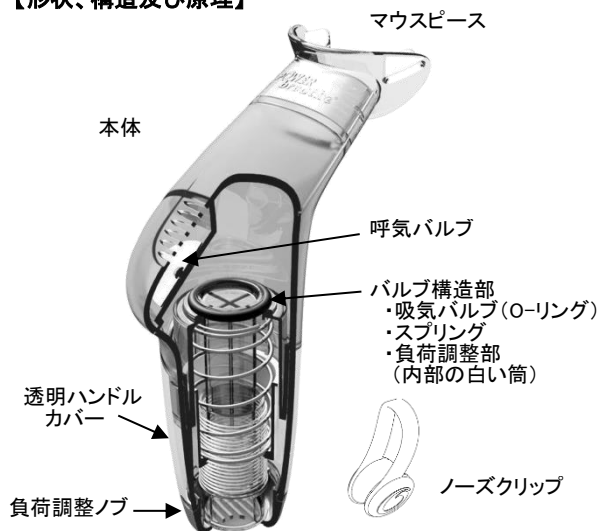


機械器具 58 整形用機械器具
一般医療機器 非能動型呼吸運動訓練装置 11634001
パワーブリーズ メディックプラス

*【禁忌・禁止】

1. 医師に相談することなく、処方された薬剤または治療計画を変更しないで下さい。
2. 吸気筋トレーニング機器として設計されています。それ以外の目的で使用しないでください。
3. 次の患者や以下の状態の方はご使用にならないで下さい。
本品を用いた呼吸訓練は喉、耳、副鼻腔、ならびに胸部に陰圧をかけます。
 - ・外傷性気胸、または肋骨骨折が完全に治癒していない
 - ・頻繁に増悪を繰り返す喘息患者
 - ・鼓膜破裂などの損傷がある
 - ・左室拡張末期容積および左室拡張末期圧の著しい上昇がある
 - ・呼吸筋トレーニング後、心不全の徴候や症状が悪化した
 - ・腹部ヘルニア
4. 以下に該当する方は医療従事者の指導のもとご使用下さい。
 - ・自然気胸(肋骨骨折など外傷以外による肺虚脱)の既往がある
 - ・肺高血圧症
 - ・胸部レントゲン上に大きな嚢胞を認める
 - ・肋骨骨折の既往をともなう顕著な骨粗鬆症
 - ・IMT 実施中または終了後に酸素飽和度の低下(94%未満)がある
 - ・腹部手術後
5. 16 歳以下の方は大人の監視下でのみご使用下さい。小さな部品が含まれるため 7 歳未満のお子様には適していません。
6. 個人の使用に限ります。家族を含む他用と共有しないで下さい。(滅菌不可)

【形状、構造及び原理】



本品は、スプリングで負荷を調整できる吸気バルブによって一定圧の吸気抵抗を作り出します。

負荷方式 : スプリング負荷
負荷設定レンジ : 1.3, 9 ~ 78cmH₂O
寸 法 : 約 150mm × 90mm
＜原材料＞
本体 : ABS樹脂
マウスピース : 熱可塑性エラストマー (TPE)
呼吸バルブ : シリコン 60
透明ハンドルカバー : ポリカーボネート
負荷調整ノブ : ABS樹脂
バルブ構造部 : ニトリルゴム、ステンレススチール、ABS樹脂
ノーズクリップ : シリコン 40、ナイロン
洗浄タブレット (別売品) : ジクロロイソシアヌル酸ナトリウム
収納袋 : ナイロン

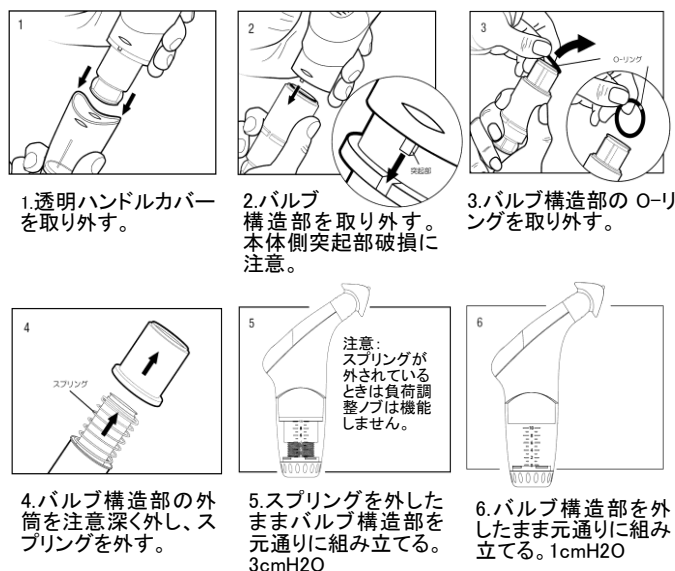
【使用目的又は効果】

本品は、吸気時に抵抗弁で負荷を与え、呼吸筋力を高めることにより換気を改善させる訓練機器である。

【使用方法等】

	1. 本体を直立させて持ち負荷の調節を行います。負荷を増やすには負荷調節ノブを右方向へ回し、負荷を減らすには左方向へ回します。ハンドルの透明側面に見える目盛に注目し、負荷表示部 (内部の白い筒) が上下することを確認します。
	2. はじめは目盛 0 に設定します。この負荷では負荷調整部 (内部にある白い筒) が一番下の目盛 0 に合っている状態です。 注) 目盛 0 以下にしないでください。調節ネジに不具合の原因となります。
	3. ノーズクリップを塞がるようにノーズクリップをつけます。 注) ノーズクリップを使用すると鼻からではなく口から呼吸がしやすくなりますが、必須ではありません。人によってノーズクリップを使用しない方が呼吸しやすい場合もあります。
	4. 上体を真っ直ぐにして座るか立つかして、リラックスします。ハンドルを持ち、唇でマウスピースの外周部を覆い、密閉するようにしてマウスピースをくわえてください。
	5. 息を完全に吐ききってから、素早くかつ力強く息を吸い込みます。この時、背筋を真っ直ぐにし、胸を張って行います。
	6. ゆっくりと力を入れずに肺の中が空になるまで、口から息を吐き出します。(マウスピースをくわえたまま息を吐いて構いません。) この呼吸法を繰り返して行います。訓練は 30 呼吸、1 日 2 回を毎日継続することが推奨されています。30 呼吸を楽に感じるようになったら、負荷を上げてください。

バルブ構造部の分解方法 (目盛 0 未満での負荷設定方法)
注意: 医療従事者用の手法です。



※息切れするほど無理しないこと。めまいを感じたら、ゆっくりと呼吸し、訓練を止めて休んでください。

※息を吸う際に抵抗を感じないほど楽な場合は、1 目盛増やし負荷設定を変更して再度試して下さい。

※訓練の負荷抵抗は、測定された最大吸気圧(MIP)により患者の呼吸筋力を評価して設定します。患者の MIP30%から負荷抵抗を設定して訓練を開始することが推奨されます。患者の呼吸筋力が高まるにつれて、負荷抵抗を増加します。

***【使用上の注意】**

- ・本品は病気の診断、治療、予防を目的としていません。
- ・ウォーキング、ランニング、運転などの活動中に本品を使用しないでください。
- ・本品での訓練中に痛みを感じたら即座に使用を中止して下さい。痛みが続く場合は、医師にご相談下さい。
- ・肋軟骨炎を患っている方、または可能性のある場合、ご使用を控えることをお勧めします。
- ・風邪、副鼻腔炎、あるいは呼吸器感染症を患っている場合には、症状がなくなるまで使用しないことをお勧めします。
- ・訓練中(特に風邪からの回復中の場合など)、耳に不快を感じる方もいます。この不快感は、口と耳の間の圧力不均衡から起こります。不快に感じる方は直ぐに使用を中止し、症状が持続する場合は医師にご相談下さい。

【保守・点検に関する事項】

- ・ 負荷調整ノブは目盛以上に回さないで下さい。不具合の原因となります。
- ・ エンドキャップは外さないで下さい。
- ・ 使用後はぬるま湯で洗浄します。週に 2-3 回は 10 分ほどぬるま湯に浸けた後、流水で洗い流して下さい。その後、清潔な場所で自然乾燥させて下さい。
- ・ 週 1 回は哺乳瓶用などの洗浄液に浸けて消毒して下さい。
- ・ 煮沸や加熱はしないで下さい。

****【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】**

＜製造販売業者＞

株式会社エントリージャパン
神奈川県横浜市中区本牧和田 8-8

＜製造業者＞

POWERbreathe International Ltd. 英国

取扱説明書を必ずご参照ください